

郷土の誇り

長瀬八幡宮見守る会

令和7年 6月25日 No.21

発行者 事務長 太田栄一

梅雨に悩まされる清掃作業

6月の清掃日15日は梅雨の真ただ中での実施、前日は大雨で15日の予報は9時まで雨天、中止か？と考えていましたが、雨は6時ころに上がり5月と同様清掃作業には全く影響ありませんでした。

ただ、前日の大雨の影響で、落ち葉が水分をしっかりと含んでいるため、落ち葉の掃き掃除は難しく、清掃作業は境内の草取りを重点に行いました。

この時期の清掃作業は、蒸し暑さ、上昇する不快指数との戦いでもあります。清掃作業に参加された皆さんは、汗を何度も何度も拭きながら清掃を行ってくれました。

今後は参道の方にも手を入れて行きたいと思いますので、みなさんの参加お待ちしております。



次回は 7月20日（第3日曜日） 8：00～

矢北地区総代研修会開催される

5月26日矢北地区の神社関係者の方が集合し、矢北地区総代研修会が長瀬八幡宮にて開催されました。矢北地区の総代研修会は毎年行われており、今までは矢作神社にて開催されていたそうですが、令和7年



度は長瀬八幡宮での開催が決まりました。

研修会開催に向け準備に余念のない氏子役員の皆さんは、前日は会場設営などを行い、当日も早朝よりテント張り、扉の撤去、更に式典でのリハーサルに汗を流していました。



70名ほどの参加者の皆さんは、初めて長瀬八幡宮に来られた方も多く、興味深そうに末社を眺めたり、掲示板の「郷土の誇り」を読まれる方もいました。

研修会に参加された皆さんは、本殿での大祭式を実際に見学した後会場を新公民館に移し、座学にて式典の作法などをしっかり学ばれた様子でした。

酷暑！ホタルもダウンする

梅雨に入ったばかりなのに、16日から本当に暑かったですね！熱中症で病院に多くの方が運ばれたとのこと、うなずけます。

ホタルも例外ではありませんでした。暑さに弱いホタルには余計につらかったようで、17日からは毎日多くのホタルが死んでしまいました。

本来ならば、ホタル観賞のクライマックスの時期でしたのに、ホタルを飼育し観賞会を開催している私たちは残念でなりません。それでも多くの方が観賞に来てくださいました。ありがとうございました。

「池の水を全て抜く」大作戦！！

森越町の役員及び長瀬八幡宮の氏子役員と有志延べ15名が、6月8日8時に弁財天に集合し、池の水を全て抜き底に溜っていた泥や落ち葉などを取り除きました。

まずは杉坂静夫リーダーから作業手順の説明があり、ポンプで池の水を抜くことからスタート、これには防災用のポンプが大活躍です。

この防災用ポンプ試運転は終了していましたが、今回は連続運転と性能チェックを兼ねた試験をしたところ、弁財天の池の水を1時間余りで抜いてしまうほどに威力がありました。

池のコイは？と言うと、網ですくい樹脂のボックスの中に避難させ、池の水を抜ききったところで、いよいよ泥などの沈殿物の取り除き作業開始。

池の中に入り泥をバケツに入れる係、そのバケツを池の外まで運ぶ係、更にバケツの泥を土嚢袋に入れる係に分かれ、手際よく息の合った作業を披露しました。

土嚢袋に120袋ほども泥があったというのに、秀でたチームワークで予定時間よりもずいぶん早く、13時前には泥を取り除ききり、池に水を溜めコイを池に戻し、使った道具をきれいに片付けて、皆怪我もなくもなく無事清掃作業を終了しました。



見守る会サポート会員への入会

又は活動資金の援助をお願いします

ご入会ありがとうございました。（6月25日現在）

ご入会いただいた方々のご芳名（敬称略）

矢田芳根 鈴木基弘 鈴木 譲 鈴木 昭博 松原俊治